

沼田郡八木村石姓源吉楠之職成之從正頼重跡  
以上之完  
沼田郡八木村

一私及南村楠之職成之係存生年才子吉成仕元中  
有他間之右職業仕成有存生年何年未年三月  
由定法之下楠之職成之得限之為 以上之右職成入  
成有 成是之右楠之職成之係存生年何年未年三月

正之正頼中書上

正三月

百  
源吉

正之正頼  
右之右頼

正之正頼  
右之右頼  
成是之右楠

仕成有存生年何年未年三月

正三月

正三郎

右之右頼  
正之正頼  
成是之右楠

沼田郡  
御役所

正之正頼

江國新八村職人福死侍身正清多及古祖重附  
完  
江國新八村

一 尾根名職

侍之知  
古十月十日死侍下

一 下橋名職

志三信  
古十月十日死侍下

古十月十日死侍下  
古十月十日死侍下  
古十月十日死侍下

古十月十日死侍下  
古十月十日死侍下  
古十月十日死侍下

己十二月

正三郎

江國新  
御役所

古十月十日死侍下

沼田郡八木村百姓源吉桶屋職成儀御願書附

沼田郡

口上之覚

八木村

一私儀、当村桶屋職忠兵衛存生中弟子相成仕覚申候

二付、作間二右職業仕度奉存候間、何卒来年正月ヨリ

御定法之下桶屋職水役銀被為召上、早々御赦免

被為成遣被下様宜敷被仰上可被下候、為其口上書を以御願申上候、以上

巳十二月

百姓

源吉

当分庄屋

正三郎

庄屋

忠左衛門

与頭中

前書之通願出申候二付、得斗相しらべ申候処、相違無御座候間、何卒右願之通御赦免被為成遣被旨候様仕度奉存候、為其口上書取次奉差上候、已上

巳十二月

当分庄屋

正三郎

庄屋

忠左衛門

与頭

平左衛門

同

弥五郎

同

善右衛門

沼田郡

御役所

本類共式冊調候事

水役銀 諸役人に課せられた夫役の大銀納化したもの

四十三

沼田郡八木村職人病死仕候二付御消印之儀御願書附

沼田郡

覚

八木村

一 屋根屋職

伊之助

一 下桶屋職

右十月下旬病死仕候

忠兵衛

右十一月中旬病死仕候

ノ

右之者共前段之通病死仕候間、来年正月ノ職業

御消印被為成遣被下候様奉願上候、此段以書付

御願申上候、已上

已十二月

当分庄屋

正三郎

庄屋

忠左衛門

与頭

平左衛門

同

弥五郎

同

善右衛門

沼田郡

御役所

本類式冊調候事

消印 職人資格を取り消すため職人資格認可の印を消すこと